

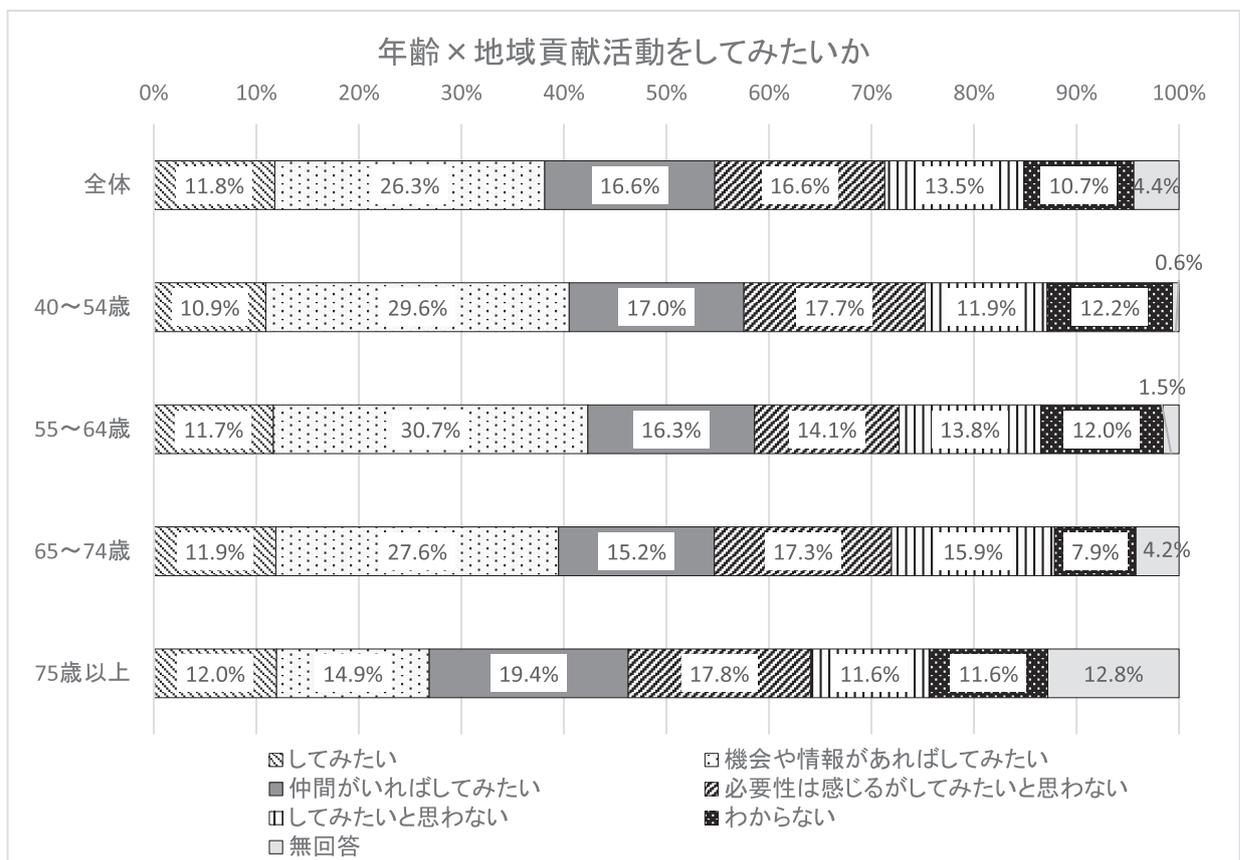
## 5 地域貢献活動への参加

ボランティア活動、NPO 活動などの何らか地域や社会に役立つ活動をしてみたいか、地域貢献活動に関する情報の入手先、してみたいと思わない理由等について、調査を行った。

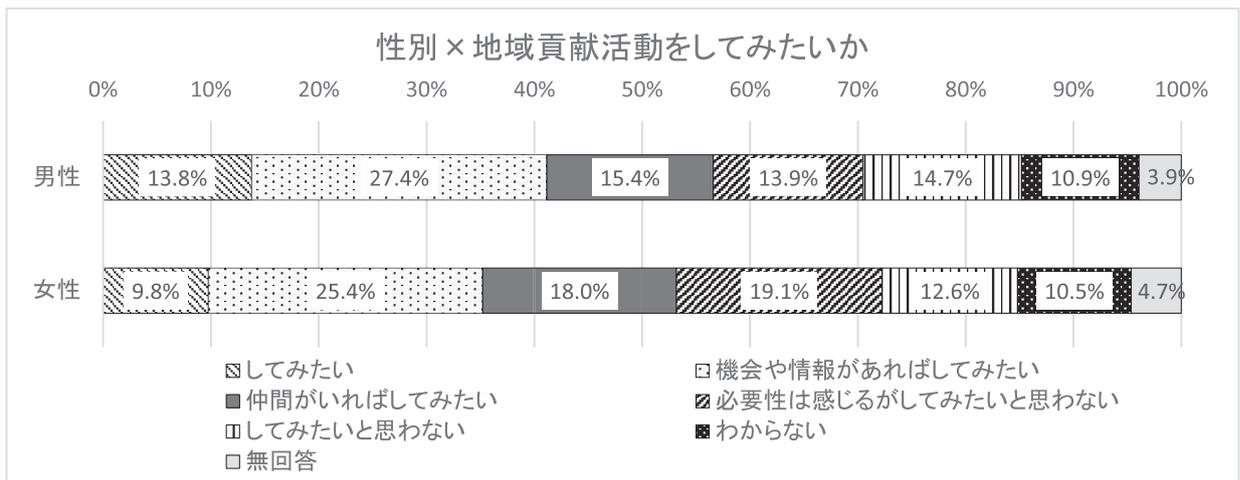
### 調査結果のポイント

- 過半数（54.7%）の人が地域貢献をしてみたいと回答
- 男女で比較すると、男性は、まちづくり（44.4%）や、防犯・防災（32.1%）、災害救護・復旧（16.3%）など地域に役立つことに関心がある  
女性は、介護・福祉（35.0%）や、子育て（26.8%）など人の役に立つことに関心がある
- 約半数が友人からの口コミと市町の広報から地域貢献に関する情報を入手
- 3人に1人は活動団体の広報により情報を入手

### 【地域貢献活動意欲】



- ・「してみたい」、「機会や情報があればしてみたい」、「仲間がいればしてみたい」の3つを合わせると、54.7%の人が地域貢献活動をしてみたいと思っている。
- ・「してみたい」は、各年齢とも1割程度となっている。
- ・「機会や情報があればしてみたい」は、40～54歳、55～64歳、65～74歳で約3割となっているが、75歳以上では14.9%に下がる一方、「仲間がいればしてみたい」は75歳以上で19.4%と最も高くなっている。
- ・「してみたいと思わない」は、65～74歳が15.9%と最も高くなっている。



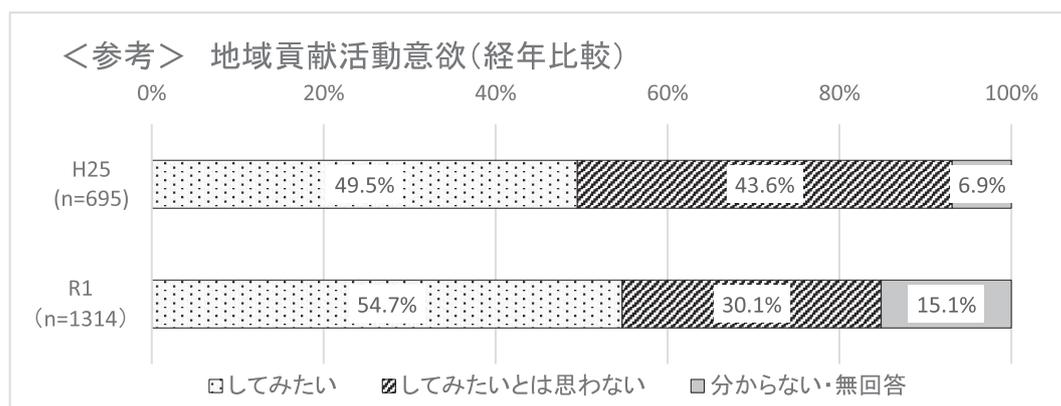
- ・「してみたい」、「機会や情報があればしてみたい」については、男性の方が女性より多い一方、「仲間がいればしてみたい」は、女性の方が多くなっている。
- ・「必要性を感じるがしてみたいと思わない」については、女性の方が男性より多い一方、「してみたいと思わない」は、男性の方が多くなっている。

#### <参考：経年比較>

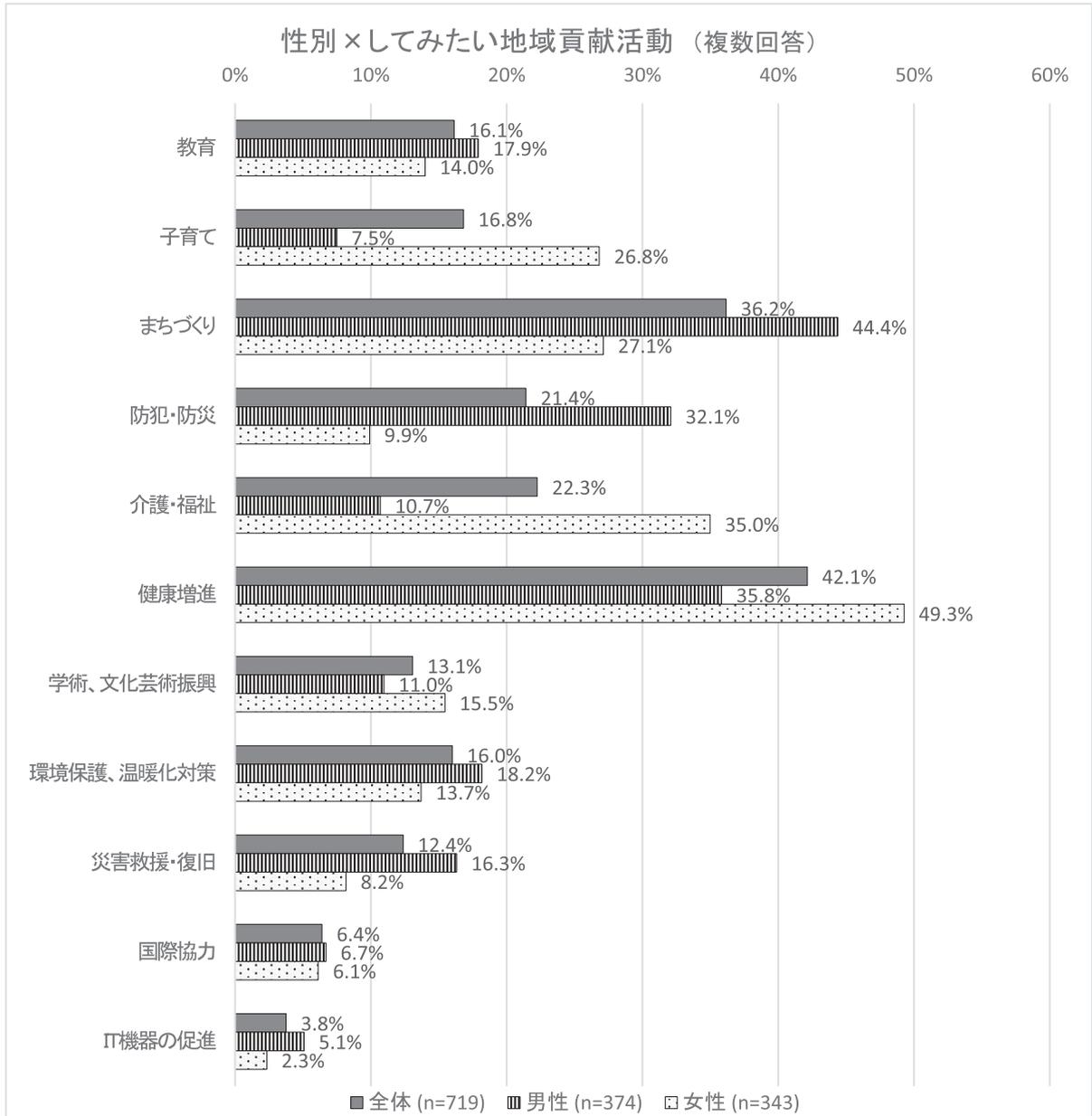
前回調査（H25）は、次のとおり質問・回答の選択肢等が異なるため、単純な比較は困難であることから、参考までに集計・比較を行った。

#### 【質問等の相違点】

年度	内容		
H25	質問	あなたは、今後（引き続き）ボランティア活動をしてみたいと思えますか	
	選択肢	1 してみたい 2 してみたいと思わない	
R元	質問	あなたは、何らか地域の方や社会に役立つ活動（教育、福祉、防犯、環境改善などのボランティア活動、NPO活動）をしてみたい（引き続きしてみたい）と思えますか	
	選択肢	1 してみたい	} 比較のため、してみたいに区分
		2 機会や情報があればしてみたい	
		3 一緒に活動する仲間がいればしてみたい	} 比較のため、してみたいと思わないに区分
		4 必要性を感じるがしてみたいと思わない	
		5 してみたいと思わない	
6 わからない			



## 【してみたい地域貢献活動】

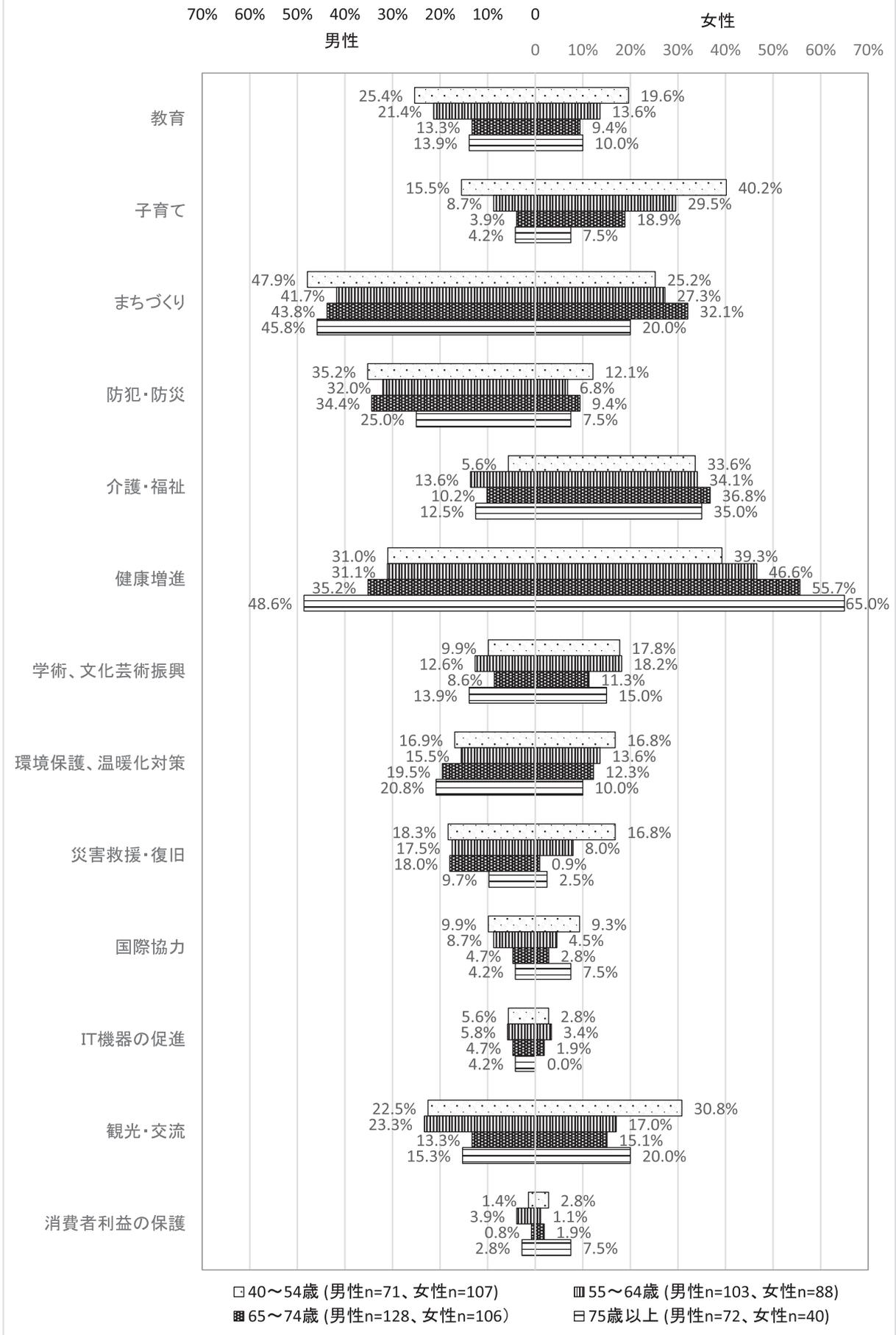


- ・全体で見ると、「健康増進」42.1%が最も高く、次いで「まちづくり」36.2%、「介護・福祉」22.3%となっている。
- ・男性の第1位は、「まちづくり」44.4%、第2位「健康増進」35.8%、第3位「防犯・防災」32.1%であり、女性より関心が高い項目は「まちづくり」、「防犯・防災」、「災害救援・復旧」等となっている。
- ・女性の第1位は「健康増進」49.3%、第2位「介護・福祉」35.0%、第3位「まちづくり」27.1%であり、男性より関心が高い項目は、「子育て」、「介護・福祉」、「健康増進」等となっている。

(その他の回答)

してみたい地域貢献活動（複数回答）	
スポーツ振興	郷土史会
農業振興	動物保護活動

### 年齢×性別×してみたい地域貢献活動（複数回答）



- ・「教育」は、40～54歳男性の25.4%が最も高く、男女とも年齢が上がるにしたがって減少傾向にある。
- ・「子育て」は、40～54歳女性の40.2%が最も高く、年齢が上がるにしたがって減少している。
- ・「防犯・防災」、40～54歳男性の35.2%が最も高く、すべての年齢で男性の方がかなり高い。
- ・「介護・福祉」は、65～74歳女性の36.8%が最も高く、すべての年齢で女性の方がかなり高い。
- ・「健康増進」は、75歳以上女性の65.0%が最も高く、年齢が上がるにしたがって増加している。
- ・「災害救護・復旧」は、40～54歳、55～64歳、65～74歳男性で18%前後の方が関心があると回答しており、40～54歳女性も16.8%の人が関心がある。

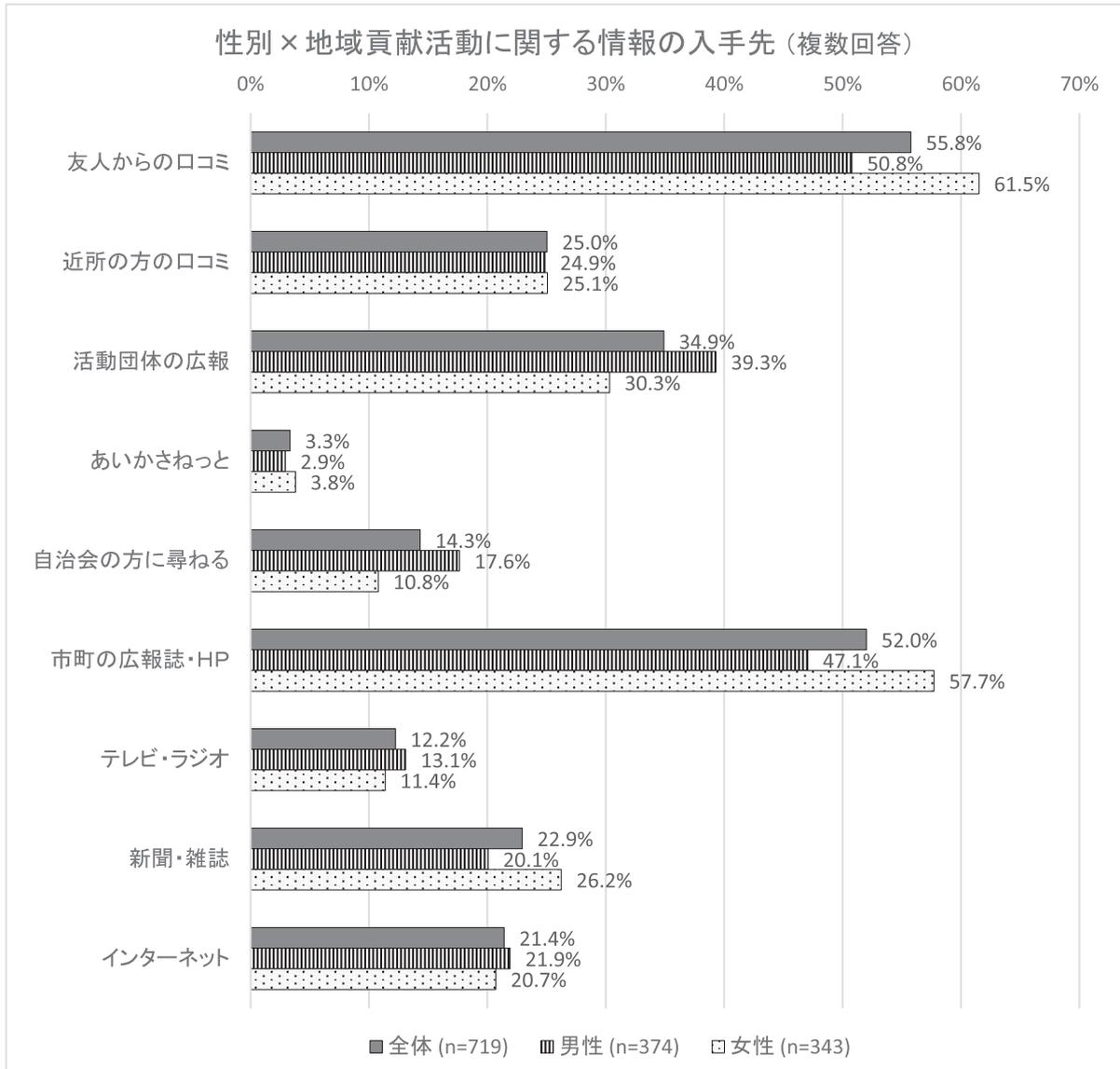
#### <性別×年齢×してみたい地域貢献活動の上位3つ>

男性	40～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上
1位	<u>まちづくり</u> (47.9%)	<u>まちづくり</u> (41.7%)	<u>まちづくり</u> (43.8%)	<u>健康増進</u> (48.6%)
2位	防犯・防災 (35.2%)	防犯・防災 (32.0%)	<u>健康増進</u> (35.2%)	<u>まちづくり</u> (45.8%)
3位	<u>健康増進</u> (31.0%)	<u>健康増進</u> (31.1%)	防犯・防災 (34.4%)	防犯・防災 (25.0%)

女性	40～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上
1位	子育て (40.2%)	<u>健康増進</u> (46.6%)	<u>健康増進</u> (55.7%)	<u>健康増進</u> (65.0%)
2位	<u>健康増進</u> (39.3%)	介護・福祉 (34.1%)	介護・福祉 (36.8%)	介護・福祉 (35.0%)
3位	介護・福祉 (33.6%)	子育て (29.5%)	<u>まちづくり</u> (32.1%)	<u>まちづくり</u> 、観光・ 交流 (20.0%)

※下線、二重下線は男女共通、網掛けは男女で異なる活動

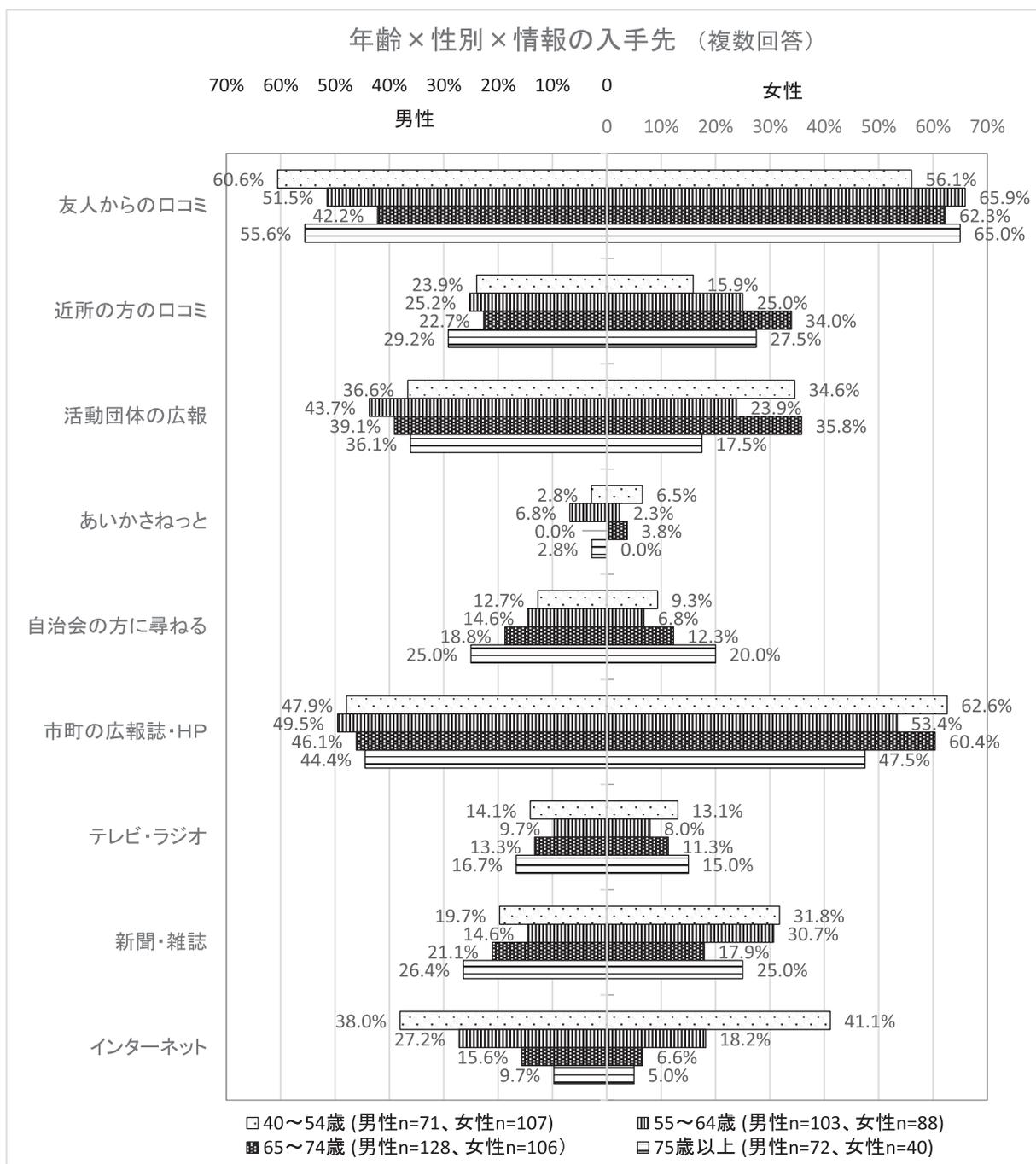
## 【地域貢献活動に関する情報の入手先】



- ・全体で見ると、過半数が「友人からの口コミ」と「市町の広報誌・HP」から情報を得ており、3人に1人が「活動団体の広報」から情報を得ている。
- ・男女とも第1位「友人からの口コミ」、第2位「市町の広報誌・HP」第3位「活動団体の広報」となっている。
- ・男性の方が女性より高い主な項目は、「活動団体の広報」や「自治会の方に尋ねる」となっている。
- ・女性の方が男性より高い主な項目は、「友人からの口コミ」、「市町の広報誌・HP」「新聞・雑誌」となっている。

(その他の回答)

地域貢献活動に関する情報の入手先（複数回答）	
公的などところ（詐欺や宗教がこわい）	自治会・町内会の方が情報を知らせる
会社を通じての案内	



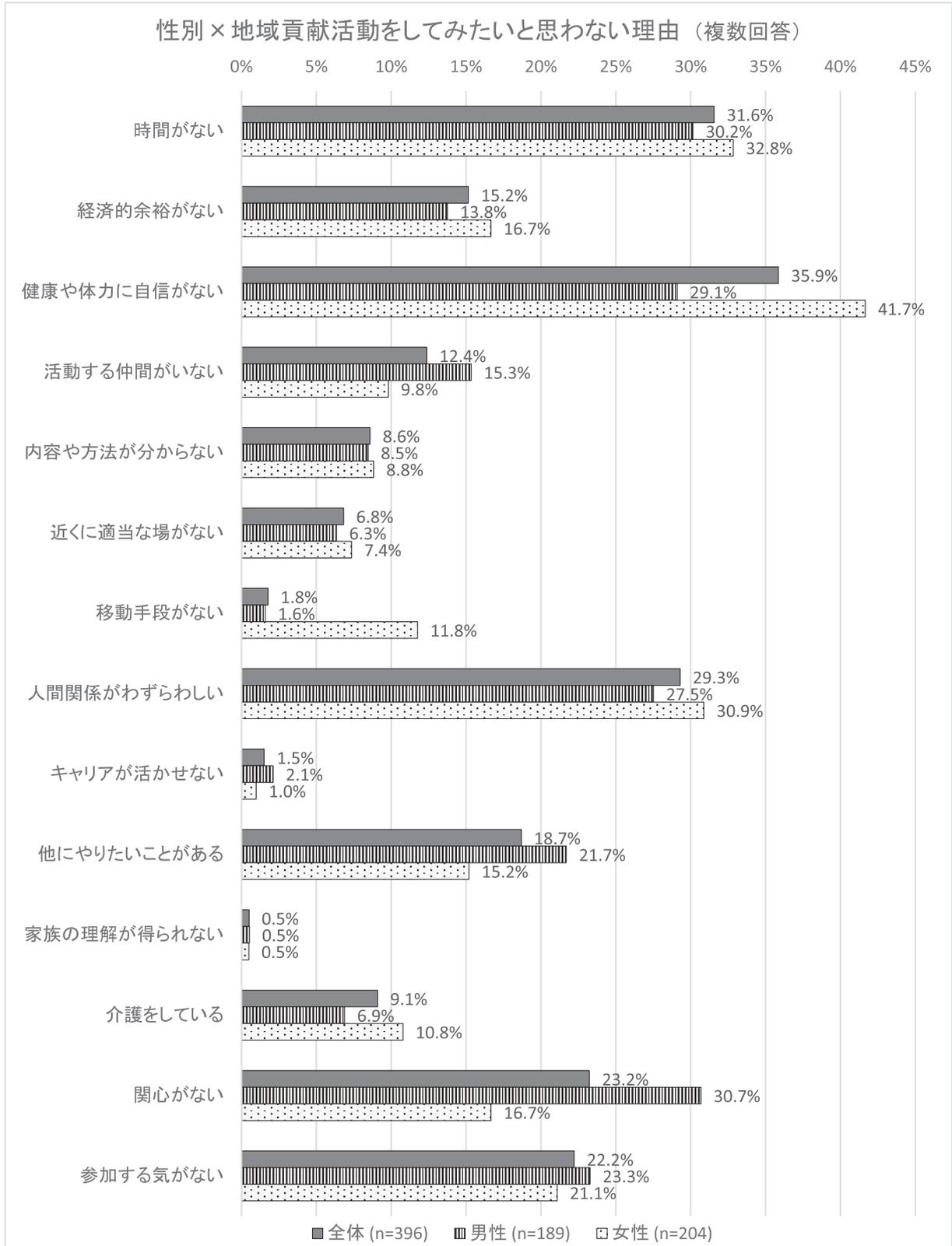
- ・「友人からの口コミ」については、65～74歳男性が42.2%と最も低い一方、6割を超えるのは40～54歳男性、55～64歳女性、65～74歳女性、75歳以上女性となっている。
- ・「近所の方の口コミ」については、65～74歳女性が34.0%と最も高い一方、40～54歳女性が15.9%と最も低くなっている。
- ・「活動団体の広報」については、55～64歳男性が43.7%と最も高くなっている一方、75歳女性は17.5%と最も低くなっている。
- ・「市町の広報誌・HP」については、40～54歳女性が62.6%と最も高くなっている一方、75歳以上男性が44.4%と最も低くなっている。
- ・「インターネット」については、40～54歳女性が41.1%と最も高く、年齢が上がるにしたがって減少している。また、減少率は女性の方が大きくなっている。

<性別×年齢×情報の入手先の上位3つ>

男性	40～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上
1位	<u>友人からの口コミ</u> (60.6%)	<u>友人からの口コミ</u> (51.5%)	<u>市町の広報誌・HP</u> (46.1%)	<u>友人からの口コミ</u> (55.6%)
2位	<u>市町の広報誌・HP</u> (47.9%)	<u>市町の広報誌・HP</u> (49.5%)	<u>友人からの口コミ</u> (42.2%)	<u>市町の広報誌・HP</u> (44.4%)
3位	<u>インターネット</u> (38.0%)	<u>活動団体の広報</u> (43.7%)	<u>活動団体の広報</u> (39.1%)	<u>活動団体の広報</u> (36.1%)

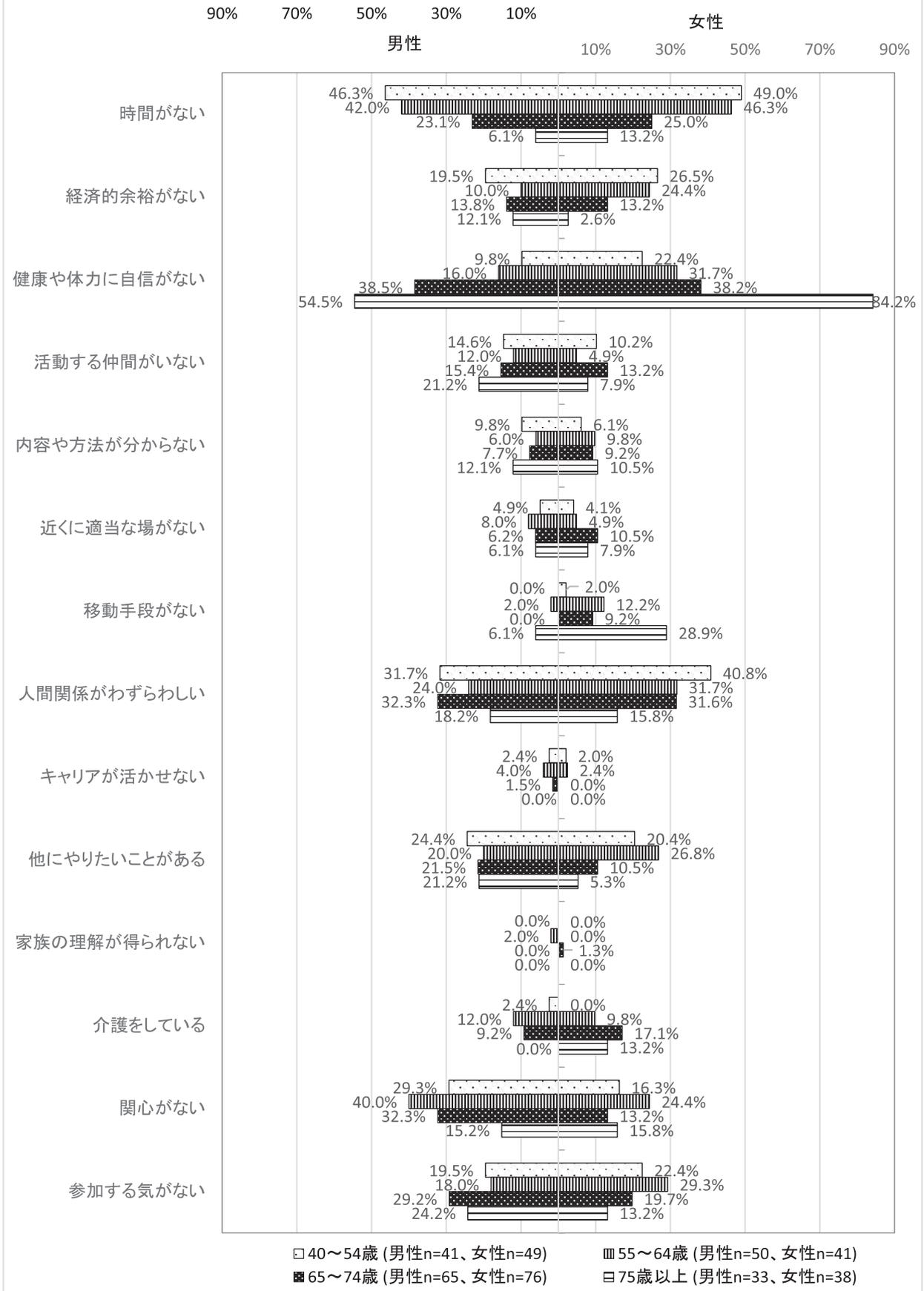
女性	40～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上
1位	<u>市町の広報誌・HP</u> (62.6%)	<u>友人からの口コミ</u> (65.9%)	<u>友人からの口コミ</u> (62.3%)	<u>友人からの口コミ</u> (65.0%)
2位	<u>友人からの口コミ</u> (56.1%)	<u>市町の広報誌・HP</u> (53.4%)	<u>市町の広報誌・HP</u> (60.4%)	<u>市町の広報誌・HP</u> (47.5%)
3位	<u>インターネット</u> (41.1%)	<u>新聞・雑誌</u> (30.7%)	<u>活動団体の広報</u> (35.8%)	<u>近所の方の口コミ</u> (27.5%)

## 【地域貢献活動をしてみたいと思わない理由】



- ・全体で見ると、約3割の人が「時間がない」、「健康や体力に自信がない」、「人間関係がわずらわしい」を理由にあげている。
- ・男女別にみると、男性の1位は「関心がない」、次いで「時間がない」、「健康や体力に自信がない」であり、女性の1位は「健康や体力に自信がない」、次いで「時間がない」、「人間関係がわずらわしい」となっている。

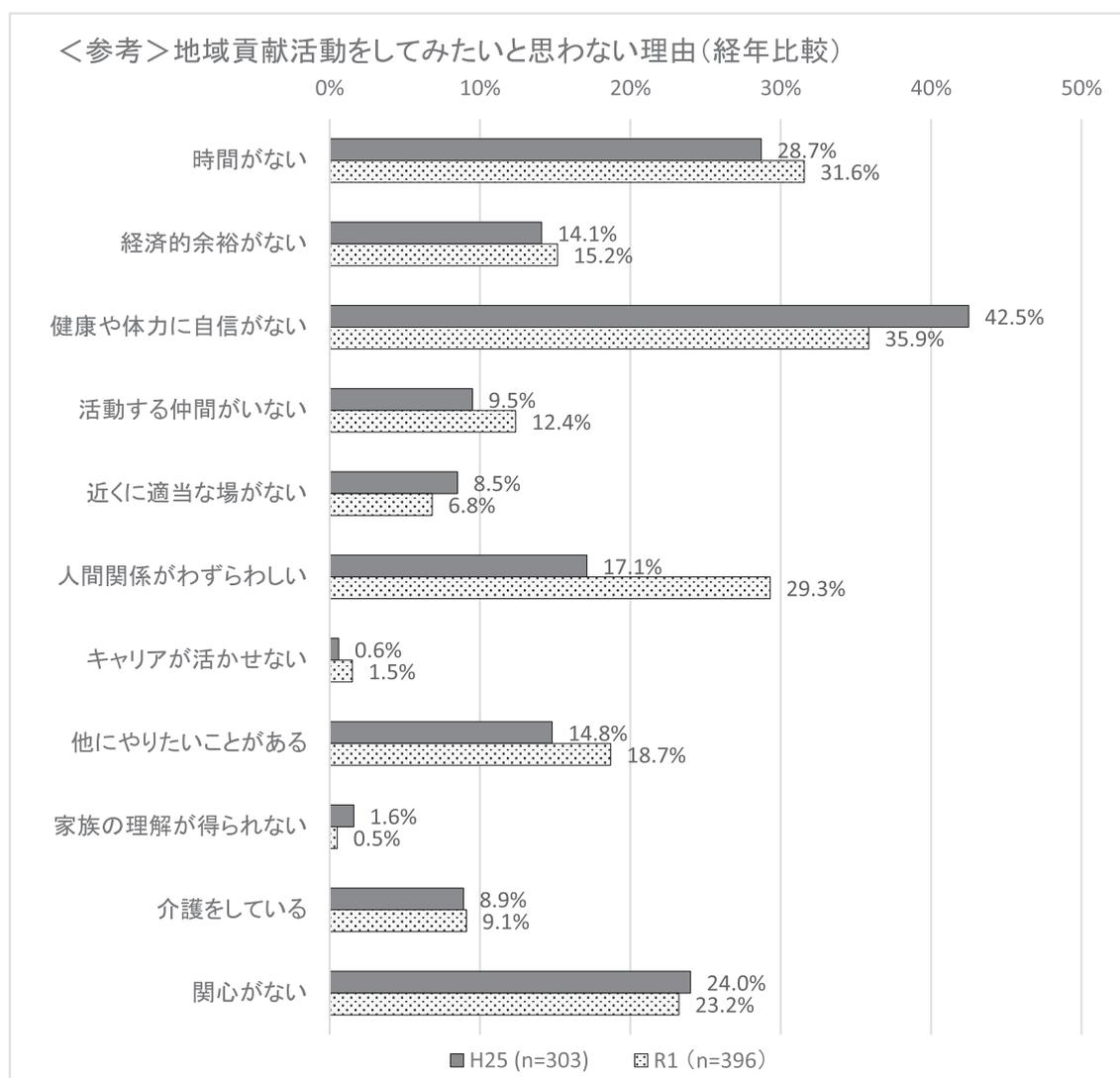
年齢×性別×地域貢献活動をしてみたいと思わない理由（複数回答）



- ・「時間がない」は、40～54歳女性が49.0%と最も高く、次いで40～54歳男性と55～64歳女性46.3%となっており、男女とも年齢が上がるにしたがって減少している。
- ・「経済的余裕がない」は、40～54歳女性が26.5%と最も高くなっている。
- ・「健康や体力に自信がない」は、年齢が上がるにしたがって増加しており、特に75歳女性で84.2%の人が理由にあげている。
- ・「人間関係がわずらわしい」は、40～54歳女性が40.8%と最も高くなっており、3割を超える人が挙げているのは、40～54歳男性、55～64歳女性、65～74歳の男女であり、75歳以上は、男性18.2%、女性15.8%となっている。

### <参考：経年比較>

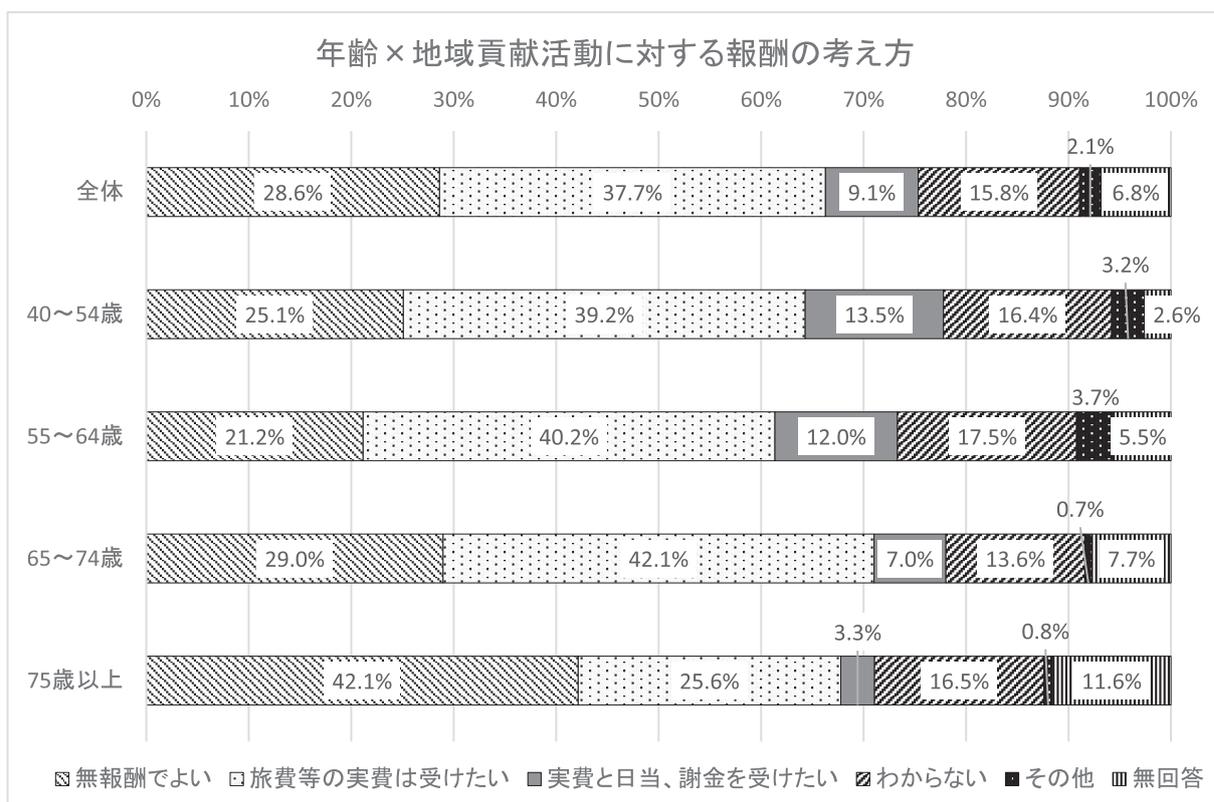
前回調査（H25）は、質問・回答の選択肢等が異なるため、単純な比較は困難であることから、参考までに集計・比較を行った。（詳細はP29参照）



- ・最も減少しているのは、「健康や体力に自信がない」であるが、依然として第1位の理由のままである。
- ・最も増加しているのは、「人間関係がわずらわしい」であり、全体順位で見ると4位から3位に上昇している。

## 【地域貢献活動に対する報酬】

自分が地域貢献活動をするとした場合の報酬等に対する考え方について調査を行った。



- ・75歳以上は42.1%の人が「無報酬でよい」と答えている一方、74歳以下は、「旅費等の実費は受けたい」と「実費と日当、謝金も受けたい」を合わせると約半数が何らかの報酬を受けたいと回答している。
- ・また、「実費と日当、謝金も受けたい」が最も高かったのは、40~54歳の13.5%であり、「旅費等の実費は受けたい」が最も高かったのは、65~74歳の42.1%となっている。

(その他の回答)

地域貢献活動に対する報酬等の考え方（1つ選択）	
内容や活動によりけりだと思う	昼食を出してもらいたい
報酬がなくても茶菓子程度のものがあると嬉しい	それぞれの技術に見合った対価は必要だと思う
交通費が高額になれば受けたい	飲み物などの現物支給
自分もつ専門的知識にかかわることは「実費と日当、謝金を受けたい」、その他は「旅費等の実費は受けたい」	